

interview



まちなかを美術館のように回遊し
新しいまちの表情を見つけてほしい

大分市美術館 館長 菅 章

大分市のリーディング事業「回遊劇場～ひらく・であう・めぐる～」の企画運営を手掛ける。

「回遊劇場」を企画するにあたり、どんな思いを持って取り組まれましたか？

アートが好きなのは美術館に行けば、芸術を楽しむことができますが、興味のない人はあまり美術館を訪れません。それは仕方ないことかも知れませんが、それでいいのかわ...

市内中心部や、現在運行している中心市街地循環バス「大分きゃんバス」のルートエリアを劇場や美術館に見立て、まちなかにあるパブリックな空間や日常空間を舞台にした、アートとまちを結ぶプロジェクトです。「CIAO's Cafe」「ウォールアート」「市民参加イベント」「パブリックアート」という大きく4つの手法で展開します。

美術館や、コンサート会場など、芸術は閉じられた場所でありがちですが「ひらく、であう、めぐる」の3つの視点で、まちの景色にアートを入り込ませ大分市中心市街地に「回遊劇場」を作り上げていきます。

「大分市のリーディング事業」回遊劇場の概要を教えてください。

今回の見どころは？

一番の狙いは、アートとまちが出会い、回遊して芸術に触れたり見たりすることで、新しいまちの表情を発見する契機を作ることです。人は、習慣や概念で目の前にあるものを見

私たちは常に考えてきました。ならば、美術館がまちに出て行こう！もつと言えば、アートと日常の垣根がなくなっていくのが理想であり、その理想を追求するのがアートに携わる者の大きな使命だと感じています。

実はこれまでも、まちなかでさまざまな仕掛けを試み、アートとまちをつなぐ活動をしてきました。文化祭だから特別ということではなく、継続的な流れの延長線上に、今回のチャンスが巡ってきたと考えています。

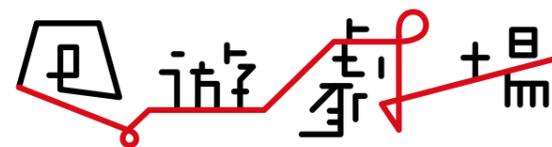
普段は作品を飾ることのない外壁や空き店舗などを使わせてもらうことがあるので、地域の人たちとコミュニケーションを取って調整しています。結果と同じくらい、プロセスが大事です。これからまちや人々の意識が変わっていくきっかけになったらうれしいですね。

鑑賞者として、時にはアーティストや出演者の立場になって、まちなかを美術館のように回遊しながら、アートを楽しんでほしいと思います。

この企画は県外から訪れる人々に対しての歓迎の意味もありますが、ここに暮らす人たちがまちの魅力を再発見し、発信するきっかけになることこそ大切だと考えます。

最近、大分の若手アーティストたちがとても元気です。喫茶店とアーティストを組み合わせた、ジャンルの違う作家同士でコラボレーションしたり、私たちがアーティストたちと企画していくことでさまざまな化学反応が生まれ、新たな才能を発掘できる楽しみもあります。また、障がいのあるなしに関わらず、多くの市民が参加し、楽しめる催しとして「障がい者施設アート作品展」を開催します。

大分市リーディング事業



10.6(土) ▶ 11.25(日)

～ひらく・であう・めぐる～

中心市街地が劇場に アートとまちを結ぶ51日間

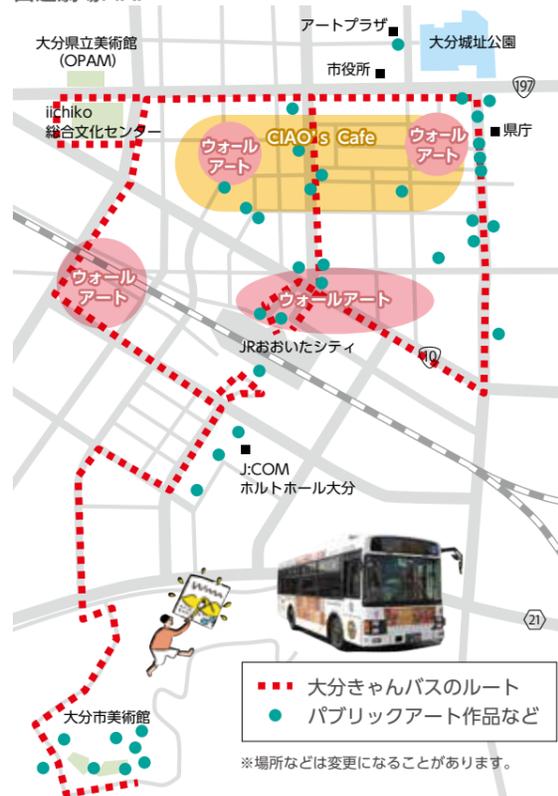
国内最大の文化の祭典「国民文化祭」と「全国障害者芸術・文化祭」が、10月6日(土)～11月25日(日)に大分県で開催。

文化祭では、県内を5つのエリアに分け、それぞれのテーマに沿った芸術文化事業を実施します。大分市は、別府市、由布市とともに「出会いの場」のエリア。さまざまな芸術や文化と出会える、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の玄関の役割

を担っています。

また、各市町村はエリアのテーマに合わせた、とっておきのプログラムである「リーディング事業」を用意しています。大分市のリーディング事業は「回遊劇場～ひらく・であう・めぐる～」。中心市街地にさまざまな芸術作品をちりばめ、新しい景色を創り出します。

回遊劇場MAP



店舗 × アートが新しい出会いを生み出す

CIAO's Cafe

中心市街地の空き店舗やカフェなどにアート作品を展示。店舗空間にアートが入り込み、回遊することで作品や場所、人との出会い、新たなコミュニケーションを創造します。



Electronica/会場イメージ 網中いづる〈ストロール〉

まちがアートで彩られる

ウォールアート

中心市街地循環バス「大分きゃんバス」の停留所や商業ビルの壁面にグラフィック作品を飾るほか、アーティストと市民・子どもたちが協働して制作する壁画やモザイクアートなどを設置します。

協力：大分県立芸術文化短期大学、市内小学校、市民団体 ほか



停留所のグラフィック作品 (イメージ) モザイクアート

創作者の一人として文化祭に参加しよう

市民参加イベント

会期中、市内中心部の各所で、シンポジウムやワークショップ、音楽会、パフォーマンス、アートツアー、作品展、壁画制作など、楽しめるアートイベントを多数開催します。

障がい者施設アート作品展

障がいのある人の個性豊かな芸術作品を展示するとともに、障がい福祉サービス事業所の活動も紹介します。



(社福) 暖雲福祉会「八風園」 早咲昌博〈風よ〉

まちなかの芸術作品を巡ってみよう

パブリックアート

パブリックアートとは、広場や道路、公園などの公共的な空間に設置された芸術作品のこと。野外彫刻、おおいたトイレンナーレの作品、地下道アートなど、これまでに制作されたまちなかの空間を彩るアートの数々を巡ることで、まちの面白さや魅力を再発見できます。



西山美なコ・笠原美希・春名祐麻 (メルティング・ドリーム) 地下道アート作品 鈴木ヒラコ (点線線の夢を見る)

国民文化祭・障害者芸術文化祭推進局 ☎578-7541